

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	パーソナルゲノム情報に基づく脳疾患メカニズムの解明
領域代表者	辻 省次（東京大学・医学部附属病院・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、次世代シーケンサーを用いたパーソナルゲノム情報の解析によって、孤発性神経変性疾患（パーキンソン病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、統合失調症、脊髄小脳変性症）の疾患関連遺伝子を探索し、それら疾患のメカニズムを解明することを目的とする提案である。領域マネジメント体制と研究組織については妥当である。これまで、Common disease-common variants 仮説に基づいて、頻度の高い SNPs 解析によるゲノムワイド関連解析（GWAS）が広く行われてきたが、十分な結果が得られなかったことに鑑み、common disease-multiple rare variants 仮説に基づいた探索をしようとしていることは、非常にタイムリーで挑戦的な研究内容である。多くの症例を集積しており、研究を進めるにあたっての準備も整っていることから、実績のある領域代表者の下で、研究成果が期待できる。</p>